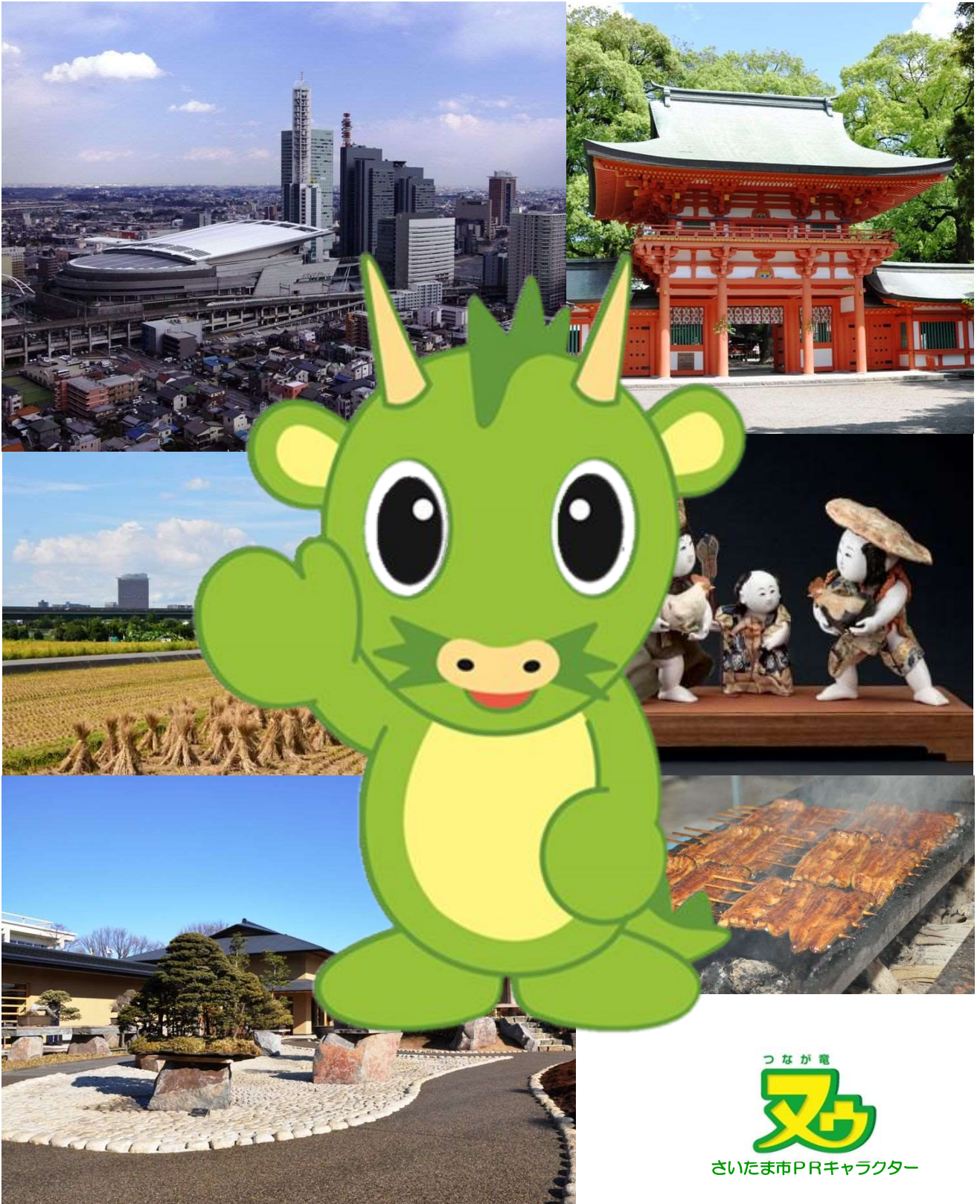


令和4年6月  
さいたま市の財政



つなが電  
又  
さいたま市PRキャラクター



## はじめに

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆様に納めていただいた税金や国・県からの支出金などによって賄われています。市では、それらがどのように使われているか、また、執行の状況はどうなっているかをお知らせするため、「さいたま市財政状況の公表に関する条例」に基づき、「さいたま市の財政」を毎年2回（6月、12月）公表しています。

今回は、令和4年度の当初予算の概要と令和3年度下半期の財政状況をお知らせします。

なお、本冊子は、令和4年3月31日現在の状況を基に調製しています。この状況に出納整理期間※の変動を加えることで、決算として確定します。決算の概要については、12月に公表を予定しています。

※「出納整理期間」とは

3月末日までに確定した債権・債務を整理するための期間として、5月末日までの2か月間設けられているもの。

## もくじ

1	令和4年度当初予算の概要	1
2	令和3年度歳入歳出予算の執行状況	
	・一般会計	5
	・特別会計	7
3	令和3年度予算の使いみちと市税負担	9
4	財産、地方債及び一時借入金の現在高	10
5	企業会計の状況	11

## 1 令和4年度当初予算の概要

### 予算の特徴

これまでの20年間の歩みを糧とし、さらに個性や強みに磨きをかけ、都市としての成熟を深めるため、総合振興計画基本計画実施計画に掲げる重点戦略事業や各分野の事業等を着実に進め、新型コロナウイルス感染症の拡大による難局を乗り越え、さいたま市のシンカに取り組むための事業について予算を重点配分しています。

- ◆ 新型コロナウイルス感染症と自然災害への対策の強化
- ◆ ポストコロナを見据えたさいたま市らしさの深化
- ◆ 誰一人取り残さない包括的な支援の充実
- ◆ 市役所DXの推進と公民学共創

### 予算の総額

## 一般会計

福祉、教育、医療、道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。

福祉

教育

土木

など

当初予算額	(前年度)
<b>6,373億円</b>	(6,118億円)
対前年比	4.2%増

## 特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には14の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

当初予算額	(前年度)
<b>3,237億円</b>	(3,189億円)
対前年比	1.5%増

## 企業会計

民間企業と同じように、基本的には事業収益で賄われている会計。さいたま市には水道事業、病院事業、下水道事業の3つの会計があります。

水道事業

病院事業

下水道事業

当初予算額	(前年度)
<b>1,305億円</b>	(1,250億円)
対前年比	4.5%増

## 全会計合計

当初予算額	(前年度)
<b>1兆916億円</b>	(1兆557億円)
対前年比	3.4%増



## 主な事業

### 新型コロナウイルス感染症と自然災害への対策の強化

令和3年度に引き続き市民の生命及び健康を守るため、ワクチン接種体制を確保し、迅速かつ確実に予防接種を進めるとともに、自宅療養者に対する医療提供体制を強化するなど、感染症対策を着実に実施します。また、激甚化する自然災害への対策として、都市・生活インフラの耐震性の確保や、治水対策などを推進します。

#### 【主な事業内容等】

- ・ワクチン接種体制の整備及び追加接種の実施〔151億6,019万円〕※補正予算含む
- ・酸素濃縮装置の整備〔1,584万円〕
- ・治水対策施設の整備〔51億9,640万円〕
- ・市立中学校の体育館への空調機設置工事及び設計の実施〔5億6,912万円〕

### ポストコロナを見据えたさいたま市らしさの深化

ポストコロナを見据え、時代の変化を的確に捉えながら、大宮駅・浦和駅周辺におけるまちづくりを進めるとともに、ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組むなど、本市の魅力にさらに磨きをかけ、さいたま市らしさを深化させます。

#### 【主な事業内容等】

- ・大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進〔2億7,359万円〕
- ・E-KIZUNA Projectの推進〔1億4,127万円〕
- ・大和田地区における社会福祉施設等を含む複合型小学校の整備〔8億8,486万円〕
- ・地下鉄7号線の延伸〔1億5,186万円〕

### 誰一人取り残さない包括的な支援の充実

誰もが住みやすい地域社会の実現に向けて、「福祉まるごと相談窓口」や、「子ども家庭総合支援拠点」を10区全てに開設し、包括的な相談体制を強化するなど、SDGsの理念を基に、誰一人取り残さない包括的な支援の充実を図っていきます。

#### 【主な事業内容等】

- ・福祉まるごと相談窓口の全区設置〔1億302万円〕
- ・子ども家庭総合支援拠点の全区設置〔106万円〕
- ・不登校等児童生徒支援センター（通称：Growth）の設置〔415万円〕
- ・放課後児童クラブの充実〔24億4,133万円〕

### 市役所DXの推進と公民学共創

多様化する市民ニーズや新しいライフスタイルに対応するため、本市のDXのコンセプトである「さいたまデジタルハ策」に基づく各種取組によりデジタルファーストな行政運営への転換を図ります。また、多様化・複雑化する行政課題に柔軟に対応するため、公民学共創を推し進め、新たな時代にふさわしいさいたま市役所を創造します。

#### 【主な事業内容等】

- ・キャッシュレス決済の対象拡大〔2億8,034万円〕
- ・Web口座振替受付サービスの導入〔1,563万円〕
- ・ノーコード・ローコード等の業務効率化に資するデジタル技術の導入・拡充〔2,029万円〕
- ・グリーンインフラの活用の推進〔658万円〕

## 01

コミュニティ・人  
権・多文化

## 自治会運営補助金交付事業

予算額 2億8,518万円

住みよい豊かな地域社会の形成に資することを目的として、自治会及び自治会連合会の運営に要する経費の一部を補助するとともに、さいたま市自治会連合会のホームページ運営を支援します。

## ICTを活用した自治会活動支援事業

予算額 108万円

ICTを活用した自治会活動を支援するため、自治会向けICT活用に関する講座及び自治会電子回覧板モデル事業を実施します。

## 02

環境

## 環境未来都市推進事業

予算額 1億553万円

次世代自動車普及施策を推進するとともに、本市の先進的な取組を国内外に発信するため、「E-KIZUNAグローバルサミット」を開催します。

## ゼロカーボンシティ実現への共創推進

予算額 3,964万円

脱炭素社会の実現に向けて、エネルギー地産地消の推進体制構築や地域での再生可能エネルギー等の導入拡大に向けた先行モデル事業の調査等を実施します。

## 03

健康・  
スポーツ

## 健康マイレージ

予算額 1億4,779万円

ICTを活用し、楽しみながら継続的な運動習慣の獲得を図るため、歩数等に応じてポイントを付与する健康マイレージを実施します。

## 「さいたまスポーツシューレ」活用推進事業

予算額 4,430万円

持続可能なスポーツ振興の実現に向けて、ネットワーク型の「さいたまスポーツシューレ」の活用や、スポーツシューレ推進施設の整備に向けた調査・検討を実施します。

## 04

教育

## 小学校35人学級教室整備事業

予算額 2億3,087万円

市立小学校の35人学級の実施等による学校の教室を確保するため、教室改修及び仮設校舎の設置とともに必要な物品を購入します。

## 不登校等児童生徒への支援の充実

予算額 415万円

「不登校等児童生徒支援センター（通称：Growth）」を設置し、ICTを活用した学習支援や訪問相談等を実施します。

## 05

生活  
安全

## 防犯対策の推進

予算額 4,471万円

市民、事業者、警察等関係機関との連携の下、防犯や暴力排除の意識の向上を図り、地域の自主防犯活動の支援や暴力排除活動を推進します。

## 交通安全教室の実施

予算額 1,492万円

幼児・小学生・高齢者などを対象として、交通マナーや交通ルールを実践的に学ぶ教室を開催します。

## 06

福祉

## 福祉まるごと相談窓口の全区設置

予算額 1億302万円

各区に「福祉まるごと相談窓口」を設置し、生活困窮をはじめ、福祉の複合的な課題を抱えている方等の相談を包括的に受け止め、生活困窮者自立支援制度に基づく支援や必要な支援のコーディネートを実施します。

## ケアラー・ヤングケアラー啓発事業

予算額 396万円

ケアラーに対する社会的認知度や理解の向上を図り、ケアラーを社会全体で支える機運を醸成するため、市民、事業者、関係機関等への周知啓発を実施します。

## 07

子ども・子育て

妊娠・出産包括支援事業

予算額 9,190万円

各区保健センターに設置した妊娠・出産包括支援センターを円滑に運営し、妊娠期からの切れ目ない支援を実施します。

子ども家庭総合支援拠点事業

予算額 106万円

身近な場所で、子育て全般に関する相談や児童等への必要な支援を実施する、子ども家庭総合支援拠点を10区に設置します。

## 08

文化

さいたま国際芸術祭開催準備事業及び国際芸術祭レガシー事業

予算額 4,895万円

さいたま国際芸術祭の開催（令和5年度予定）に向けて、広報戦略を含めた開催実施計画の策定経費を負担するとともに、国際芸術祭のレガシーとして、市民プロジェクト事業等を実施します。

アーツカウンシル運営事業

予算額 4,795万円

専門人材による調査研究、芸術活動支援及び文化発信プロジェクトなどの象徴的事業を実施するアーツカウンシルを創設し、文化芸術推進体制を強化します。

## 09

都市インフラ

大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進

予算額 2億7,359万円

大宮駅グランドセントラルステーション化構想及び大宮GCSプラン2020に基づき、大宮駅周辺街区のまちづくり、交通基盤整備及び駅機能の高度化の事業化に向けた検討を実施します。

大規模公園の整備推進

予算額 2億6,451万円

緑の核となり、地区内外から多くの人が訪れる大規模公園（秋葉の森総合公園、見沼通船堀公園、さいたまセントラルパーク、与野中央公園）の整備を推進します。

## 10

防災・消防

準用河川・排水路等改修事業

予算額 12億4,551万円

浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図るため、準用河川・排水路等（新川、黒谷川外）の整備を推進します。

消防団の充実強化

予算額 2億6,754万円

地域防災の中核的存在である消防団の充実強化を図るため、消防団員確保の広報、消防団員の処遇改善、消防分団車庫及び各種装備等の整備を実施します。

## 11

経済・産業

中小企業の生産性・付加価値向上を通じた成長促進支援

予算額 3億819万円

市内中小企業の持続的な成長に向け、経営基盤強化と事業継続力向上の総合的な支援及びDX推進による生産性と付加価値向上を支援します。

企業立地の促進

予算額 2億8,364万円

本市の優位性を生かした企業誘致活動や官民連携による新たな産業集積拠点の創出に向けた権利者組織の支援及び関係機関協議等を実施します。

## 12

市民協働・公民連携、高品質経営市役所

市税の納付機会の拡大

予算額 1億2,299万円

市税の納付機会の拡大や納期内納付の促進、更には市民サービスの向上を図るため、コンビニエンスストア、キャッシュレス決済等を利用した納付について実施するとともに、地方税共通納税システムなど、非接触型の納付方法を推進します。

Park-PFI等公民連携による公園のにぎわい創出

予算額 453万円

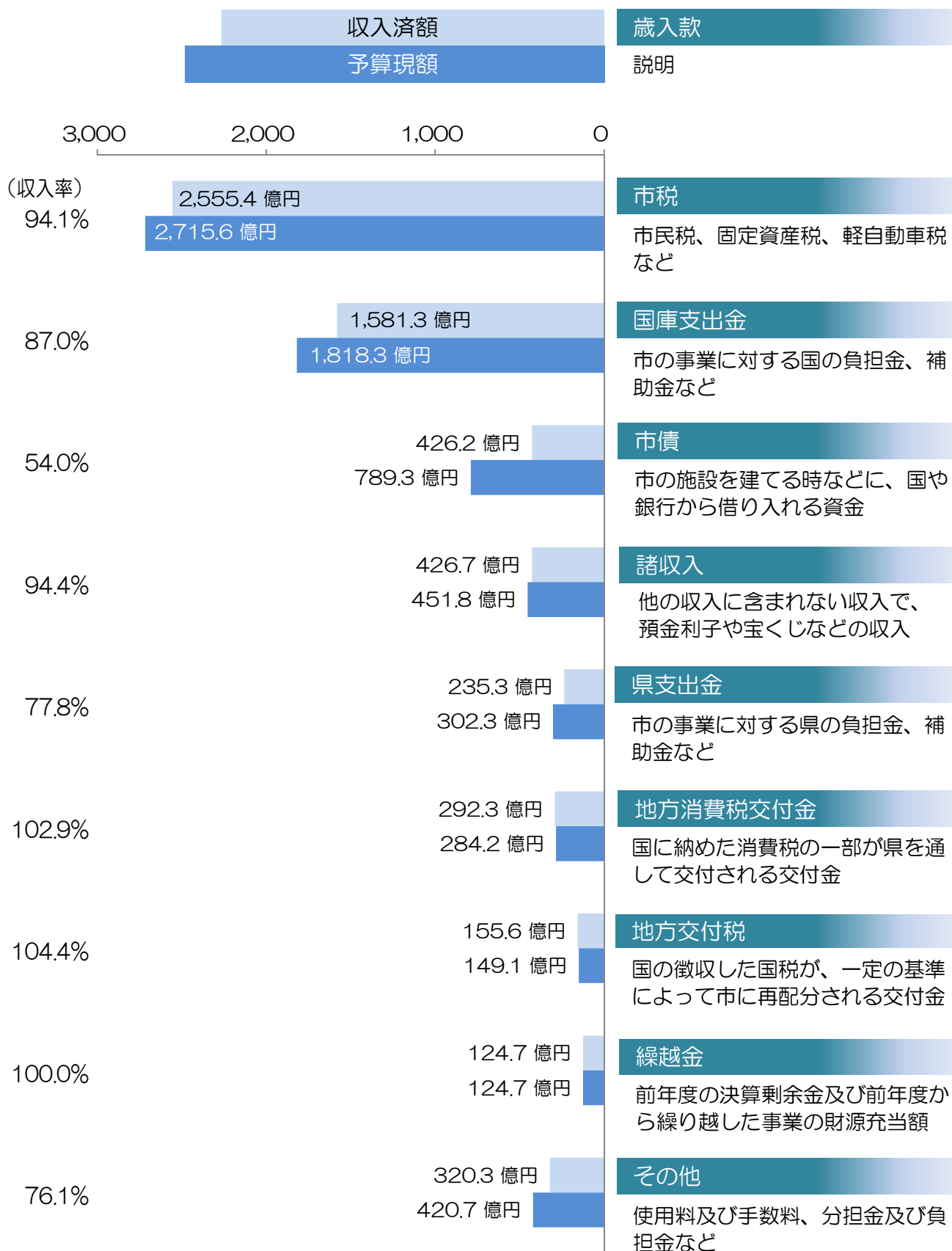
公園のにぎわい創出、魅力の向上を図るため、公募設置管理制度（Park-PFI）やネーミングライツの活用など、公民連携事業を推進します。

## 2 令和3年度歳入歳出予算の執行状況

### 一般会計

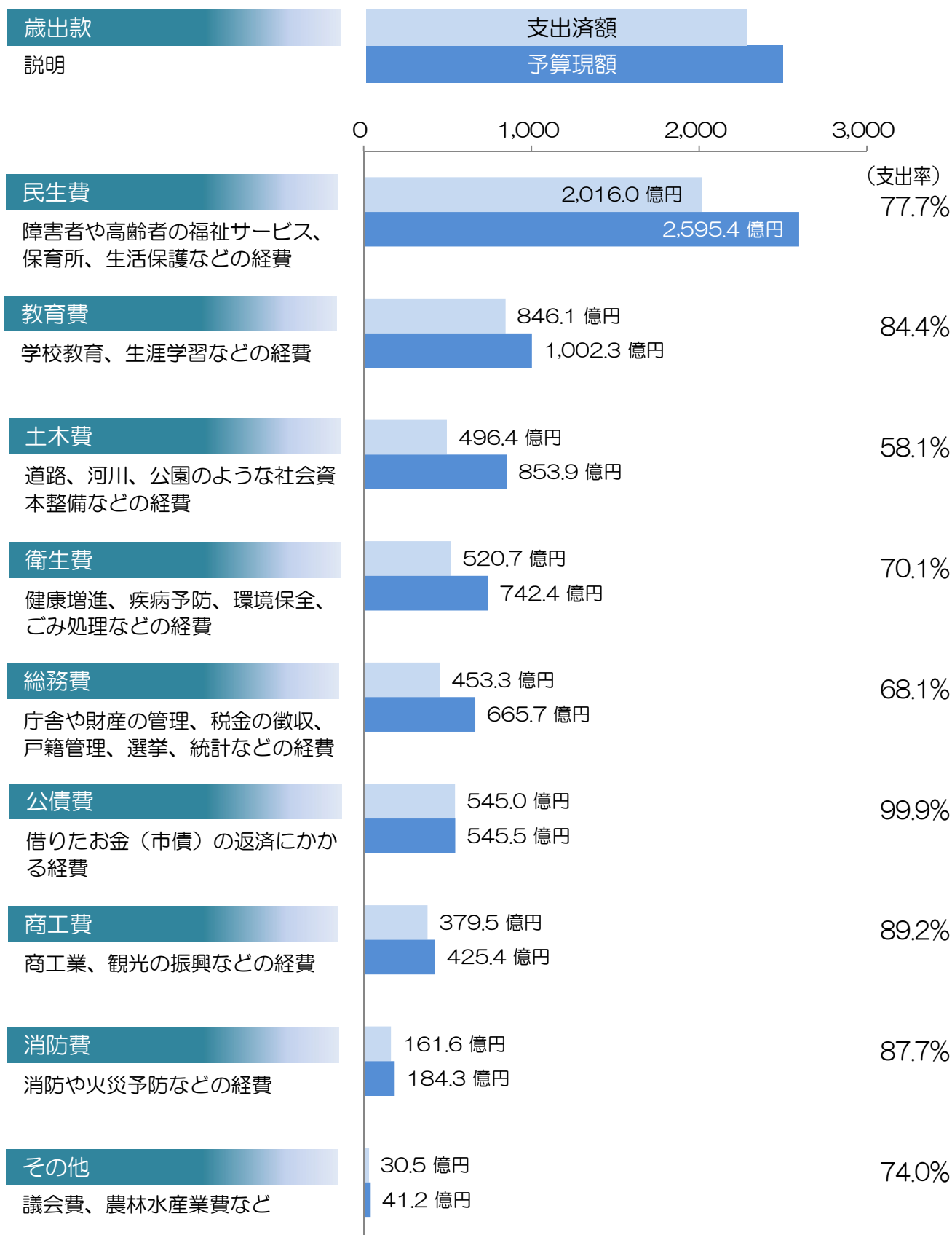
※予算現額は、当初予算額に補正予算額と前年度繰越額を加えた令和4年3月末の予算額を表します。  
また、収入率・支出率は、百万円以下を四捨五入して算出しています。

$$\text{歳入} \frac{\text{収入済額 } 6,117\text{億}7,852\text{万円}}{\text{予算現額 } 7,055\text{億}9,576\text{万円}} = \text{収入率 } 86.7\%$$

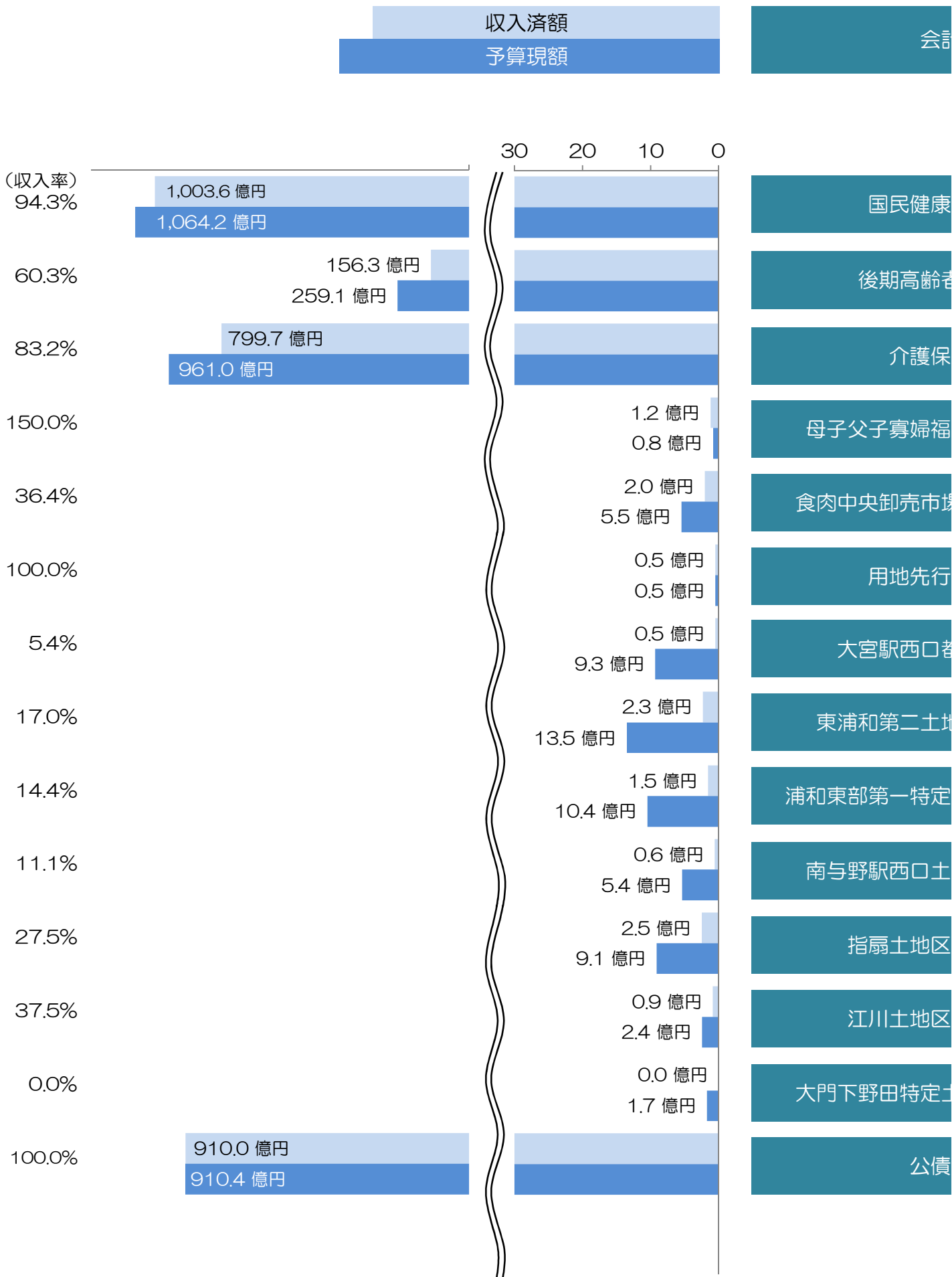


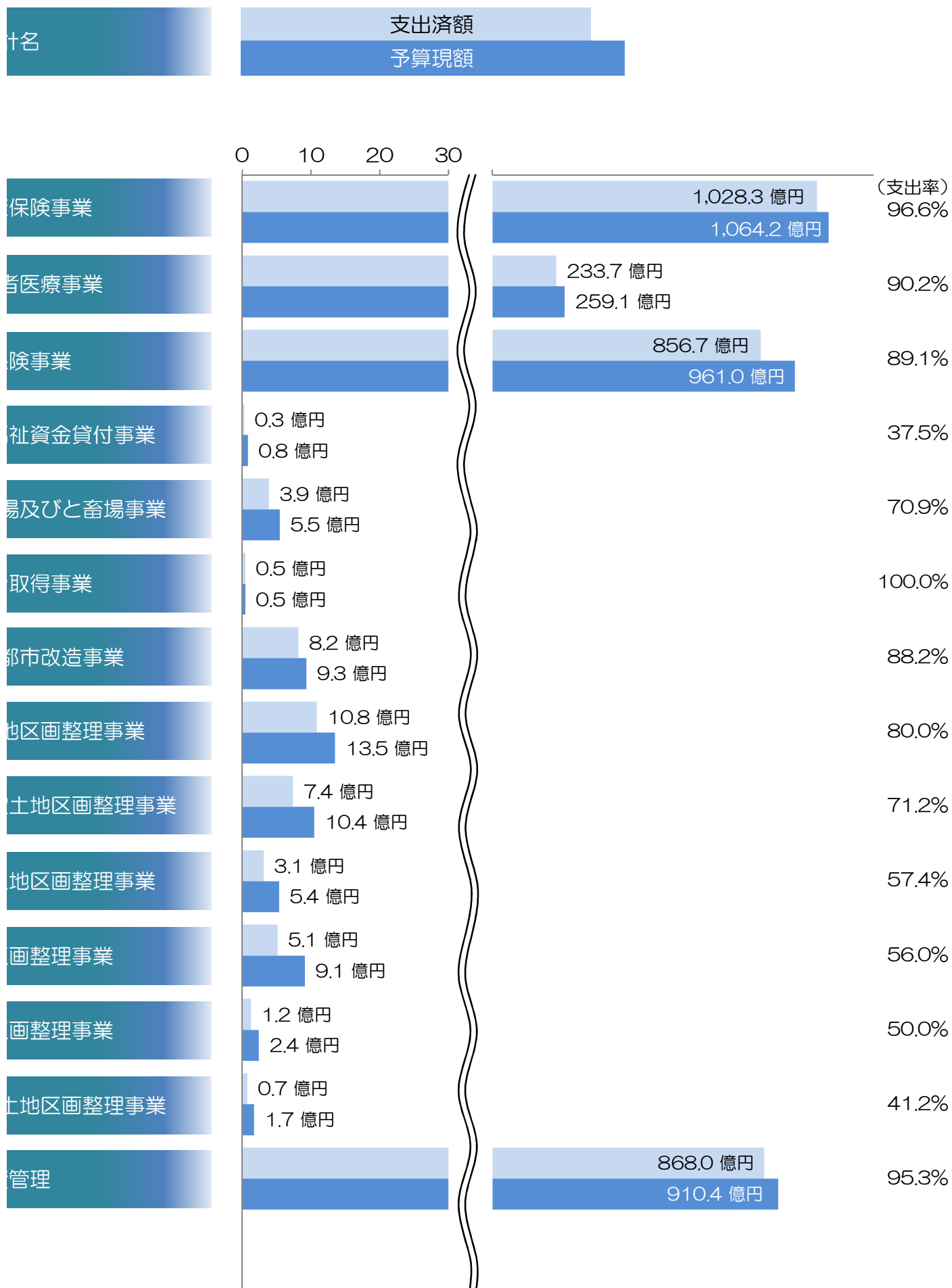


歳出  $\frac{\text{支出済額 } 5,449\text{億}460\text{万円}}{\text{予算現額 } 7,055\text{億}9,576\text{万円}} = \text{支出率 } 77.2\%$



特別会計





### 3 令和3年度予算の使いみちと市税負担

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

#### 市民一人当たりの予算の使いみち

1

#### 民生費



194,413円

歳出予算（一般会計）を、  
市民一人当たりに換算すると、

528,546 円

※市民一人当たりの歳出予算の額を、目的別で金額の多い順に並べています。  
※令和4年4月1日現在の人口（1,334,975人）を基に算出（以下同様）。

2

#### 教育費



75,081円

3

#### 土木費



63,964円

4

#### 衛生費



55,611円

5

#### 総務費



49,862円

6

#### 公債費



40,859円

7

#### 商工費



31,868円

8

#### 消防費



13,806円

#### その他

農林水産業費  
議会費  
労働費  
予備費  
災害復旧費

3,082円

#### 市税負担の状況

市税を、市民一人当たりに換算すると、

203,421 円

#### 市民税



113,932円

#### 固定資産税



65,149円

#### 都市計画税

13,975円

#### 市たばこ税

5,623円

#### 事業所税

3,602円

#### 軽自動車税

1,136円




#### その他

4円



## 4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

## 財産の現在高

土地	建物	基金
		
3,186万㎡	270万㎡	630億円

## その他の財産

区分	令和3年度末現在高
立木	7,274㎡
物権	27万㎡
動産	なし
無体財産権	15件
有価証券	97億円
出資による権利	18億円
不動産の信託受益権	なし
物品	4,735点
債権	30億円

※物品については、取得価格が1点100万円以上の備品の年度末現在高のみ掲載対象としています。

## ※基金の現在高（内訳）

- ・財政調整基金：年度間の財源不均衡を調整するために設置される基金で、決算剰余金等を積立て、必要に応じて取崩しを実施。 225 億円
- ・減債基金：地方債の償還を計画的に行うために設置される基金で、計画に応じて積立て・取崩しを実施。 141 億円
- ・その他特定の目的のために設置される基金：公共施設の老朽化対策など、事業の目的に応じて積立て・取崩しを実施。 264 億円

## 地方債の現在高

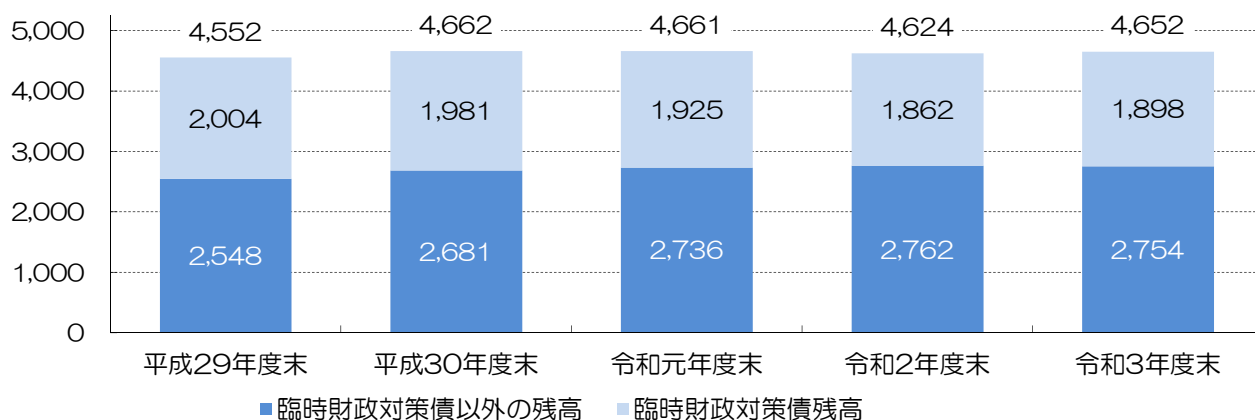
(単位：億円)

会計	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	
一般会計	4,552	4,662	4,661	4,624	4,652	
特別会計	130	120	103	86	71	
企業会計	水道事業	514	480	445	429	416
	病院事業	47	83	341	333	319
	下水道事業	1,808	1,812	1,806	1,801	1,785
合計	7,051	7,157	7,357	7,273	7,243	

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

## (参考) 地方債の現在高の推移（一般会計）

(単位：億円)



## 一時借入金の現在高

令和3年度上半期に引き続き、令和3年度下半期における借入れはなく、令和3年度末の残高はありません（一時借入金は金融機関からの借入れを指し、基金や会計間の繰替運用によるものは含みません。）。

## 5 企業会計の状況

### 水道事業

現在、本市の人口は増加傾向にありますが、将来的には減少に転じ、あわせて給水人口や給水収益も減少していくと推測されます。

一方で、浄水場、配水場や管路の老朽化が進み、その更新需要は更に増加していく見込みです。また、災害時においても安定した給水を行うため、耐震化対策を推進する必要性があり、これらを計画的に進めていくことが課題となっています。

水道局では、このような環境の変化や重要な課題に対応するため、令和3年3月に策定した「さいたま市水道事業長期構想（2021-2030）」に基づき、財政とバランスの取れた施設整備を行うなど、効率的かつ効果的な事業運営を推進する必要があります。

#### 令和4年度当初予算の概要

当初予算額 49,128,582千円

(主な事業)	(単位：千円)
水道施設整備事業	12,404,296
水道水の安定供給を図るため施設整備を推進します。	
営業事務事業	85,461
Web口座振替受付サービス及び水道窓口クラウドサービスを実施するとともに、水道メーター検針におけるリモートネットワークの導入に向けた準備を開始します。	

### 病院事業

本市が運営する唯一の公立病院であるさいたま市立病院は、地域の基幹病院として、地域医療における中核的な役割を果たしていますが、救急・周産期・感染症・災害等の不採算・特殊部門に係る医療の多くを公立病院が担っている中、全国的に公立病院を取り巻く経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっています。

このような状況の下、医療機能の拡充・強化を行ったさいたま市立病院では、市民が地域の中で必要な医療を受けることができる「地域完結型医療の要」として、安定した医療提供体制を維持するため、中期経営計画に基づき、医療機能の充実と健全な経営基盤の確立を図ります。

#### 令和4年度当初予算の概要

当初予算額 30,821,902千円

(主な事業)	(単位：千円)
市立病院医療機器整備事業	285,000
質の高い医療の提供及び病院機能の拡充のため、医療機器を整備します。	

### 下水道事業

自然災害への備えや下水道施設の老朽化による事故を未然に防止し、豊かな自然環境や快適な生活環境を創りつづけていくため、主要事業である下水道浸水対策事業、下水道施設老朽化対策事業、下水道汚水事業を推進していきます。

また、令和3年3月に策定した「さいたま市下水道事業中期経営計画」に基づき、市民・企業に安定的・継続的に下水道サービスを提供するため、現行使用料水準を維持しつつ、下水道事業の健全な経営を継続していきます。

#### 令和4年度当初予算の概要

当初予算額 50,578,104千円

(主な事業)	(単位：千円)
下水道浸水対策事業	3,735,544
浸水被害の軽減を目的とした雨水管及び雨水貯留施設等の整備を推進します。	
下水道施設老朽化対策事業	3,142,793
下水道施設の老朽化に伴い、予防保全の観点から計画的な改築を行うとともに、緊急輸送道路下などの重要な下水道管の耐震化を推進します。	
下水道汚水事業	3,434,220
合併処理浄化槽との役割分担により、事業効率が高い区域の汚水整備を推進します。	

## 令和3年度計理の概況

(単位：千円)

科目	金額
資産	225,674,242
(1) 固定資産	207,557,584
(2) 流動資産	18,116,658
負債	77,962,617
(1) 固定負債	40,068,392
(2) 流動負債	10,112,152
(3) 繰延収益	27,782,073
資本	142,480,190
(1) 資本金	134,318,122
(2) 剰余金	8,162,068
収益	31,036,872
うち営業収益	29,665,818
費用	25,805,437
うち営業費用	24,919,356

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	33,964,555	101.7%	27,747,817	96.2%
資本的収支	3,804,006	60.3%	16,576,541	73.4%

## 事業の概況（令和3年度下半期）

項目	前年同期	当期	対前年度
給水件数	623,234	632,846	101.5%
給水量 (m <sup>3</sup> )	68,086,490	68,108,240	100.0%
一日平均給水量 (m <sup>3</sup> )	374,102	374,221	100.0%

## 令和3年度計理の概況

(単位：千円)

科目	金額
資産	48,239,245
(1) 固定資産	38,351,952
(2) 流動資産	9,887,293
負債	39,878,350
(1) 固定負債	34,116,983
(2) 流動負債	4,938,698
(3) 繰延収益	822,669
資本	7,058,182
(1) 資本金	8,982,199
(2) 剰余金	-1,924,017
収益	25,703,941
うち医業収益	18,069,632
費用	24,401,228
うち医業費用	23,029,303

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	25,755,907	103.3%	24,437,409	95.8%
資本的収支	1,449,798	73.7%	3,044,163	84.0%

## 事業の概況（令和3年度下半期）

項目	前年同期	当期	対前年度	
病床数	637	637	100.0%	
入院患者数	一般病床	85,150	78,627	92.3%
	結核・精神	2,695	3,125	116.0%
一日平均	一般病床	467.9	432.0	92.3%
入院患者数	結核・精神	14.8	17.2	116.2%
	外来患者数	120,695	129,175	107.0%
一日平均外来患者数	997.5	1,076.5	107.9%	

## 令和3年度計理の概況

(単位：千円)

科目	金額
資産	418,068,908
(1) 固定資産	407,135,725
(2) 流動資産	10,933,183
負債	281,346,336
(1) 固定負債	167,258,862
(2) 流動負債	15,596,492
(3) 繰延収益	98,490,982
資本	135,741,483
(1) 資本金	131,056,473
(2) 剰余金	4,685,010
収益	24,770,826
うち営業収益	21,508,910
費用	23,789,737
うち営業費用	21,408,214

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	26,468,760	102.6%	24,635,717	98.8%
資本的収支	11,389,315	69.2%	23,233,026	78.0%

## 事業の概況（令和3年度下半期）

項目	前年同期	当期	対前年度
汚水処理戸数	539,976	551,011	102.0%
汚水処理水量 (m <sup>3</sup> )	69,937,166	71,789,791	102.6%
一日平均汚水処理水量 (m <sup>3</sup> )	384,270	394,449	102.6%









この冊子は150部作成し、1部当たりの印刷経費は80円（概算）です。

---

令和4年6月  
編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課  
TEL 048-829-1154  
FAX 048-829-1974